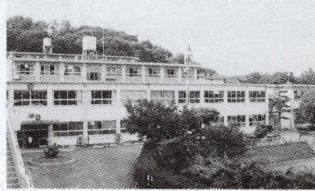


北辰

TOKYO



岐阜県立多治見北高等学校同窓会
東京支部会報 第14号
2000年10月1日

多治見北高同窓会東京支部の一層の発展を願って!!

多治見北高等学校同窓会・東京支部
会長 愛知紘治 (1回生)



昨年11月の東京支部総会において、支部会長に選ばれました愛知でございます。東京支部は昨年10周年を迎えました。発足以来、鈴木前会長のもとに役員、年度理事各位の手弁当によるボランティア活動により着実に発展、軌道に乗ってまいりました。東京支部会員も1300名を超えるようになり、10年を節目として新たな発展を期し、昨年11月東京支部総会で会則の改訂、役員改選が行われました。東京支部2代目の会長に選任頂き、その責任の重さを痛感し身の引き締まる思いでございます。微力ではありますが同窓会の発展に誠心誠意努めますので役員、会員の皆様のご支援、お力添えをよろしくお願い致します。

東京支部は前役員、会員の並々ならぬ努力により同窓会活動の基礎固めが終了、21世紀に向けた新しい発展の段階に入りました。“継続は力なり”と言われますが新しい支部役員、会員が一体となって、今までの同窓会活動の継続を第一に、下記の活動方針を掲げ、活動を開始しております。

1. 支部会員の同窓会参加意識高揚

- ・11回生以降の会員の同窓会活動への参加率が低い現状にあり、学生を含め若い会員の参加率向上を図る。
- ・地域毎の会員ネットワークを作り、同窓会活動の啓蒙

を図る。

2. 東京支部ホームページ開設

今年7月大地秀生副会長担当にて開設。各種イベント開催等ホームページを通じ情報交換を活発に行い、支部同窓生の連帯を深める。

3. 母校及び同窓会本部との連携強化

- ・母校も時代の変遷とともに教育改革に直面、先輩同窓生の協力をとの土肥校長先生の要請に積極的に協力して行く。

- ・昨年3月母校同窓会本部の役員改選が行われ、新執行部のもとに本部同窓会活動が始まった。本部と連携を密に支部ともども同窓会活動を盛り上げて行く。

第35代米国大統領J・Fケネディの就任演説に“国家が諸君のために何をなすうるかを問うのでなく、諸君が国家に何をなすうるかを考えよ”と言う名言があります。同窓会が会員のために何をなすうるかを問うのでなく、会員それぞれの力を持ちよって、よいこらしよと同窓会と言う御輿を持ち上げようではありませんか。今年の総会は11月11日(土)です。御輿を担ぐ若い会員の参加を期待し、支部会員の皆様には万障繰り合わせの上ご参加頂き、盛会になるよう願っております。

同窓会とともに北高の発展を

岐阜県立多治見北高等学校
校長 土肥勇賢



東京同窓会会員の皆様方には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。「TOKYO 北辰」13号を拝読し今更ながら母校を慕う気持ち、会員相互の熱い思いや固い絆が伝わってまいりました。ご同慶に堪えません。

母校は健在です。平成十二年度、順調なスタートを切り、六月末には、二年生北海道の修学旅行(札幌・登別・白老・ニセコ・小樽)も感動を胸に多くの成果を得てきました。現在は夏休みの課題として北辰祭への取り組みに結束しているところです。

さて、この四月、前任生田校長(退職)の後任として赴任しました。母校の置かれている立場を考えるにつけ、責任の重さを痛感するとともに、将来を見据え、誠心誠意努めたいと思っておりますので今後ともよろしくお願い致します。

最近、「17才」の少年による凶悪事件が連続して報じられています。本校におきましては当たり前のことですが、自主・自律・自学の校訓のもと、文武両道を名実ともに自負して語れることを嬉しく思います。

ご承知のように、現在、「教育改革」の嵐の中で、本校におきましても、生徒の実態を考えながら真剣に

実施段階へとカーブを切りつつあります。新学習指導要領への移行を控え、それに伴っての学校全体の見直し作業です。具体的には、新しい科目として「総合的な学習の時間」「情報」の導入です。特に、前者については来年度から三年生に取り入れていきます。本校の目指す方向が意義あるものとして、さらに先端を拓くように知恵を絞っています。その一つとして、中高一貫教育もさることながら高・大・社会との連結を考えています。具体的には、大学の専門分野についてや、将来への夢や指針が得られる内容の講話が聞ければと案を練っています。是非とも皆様方のお力添えが得られる事を願っています。

今年是全国高校総体が開催された記念すべき年です。この会報が届く頃には、大会も終え、ボクシング等の活躍の結果が報じられていることと思います。

最後に、東京支部同窓会の益々の発展を祈念いたしますとともに母校への一層のご支援を賜りますよう切にお願いいたします。

北高のこの一年

多治見北高教諭（同窓会担当）

渡辺正司（11回生）

多治見北高のこの一年の主な出来事をまとめて見ます。

まず、昨年4月には、新体育館のこけら落としとして、男子バレーボールVリーグのサントリーと富士フイルムの招待試合が行われ、日本代表選手を多く抱えている両チームの対戦を間近に見て、一同が興奮しました。

生徒の活躍としては、ボクシング部の2名がインターハイに出場しました。また、将棋部の加藤君は全国高校竜王戦で優勝しました。

進学の間では、東京大学3名、京都大学6名、名古屋大学33名、大阪大学3名、北海道大学7名、早稲田大学20名、という最近にないすばらしい成果を残しました。

また、英語検定では、2級合格率が高いということで「団体優秀賞」を受賞しました。

昨年は、北高の先輩が来校して講演をし、勉学への意欲を喚起するとともに激励をしてくださいました。

北辰祭では、加藤賀代子さん（多治見市役所－8回生）、加納志貴さん（加納経済研究所－6回生）、進路講演会では加藤幸兵衛さん（陶芸家－4回生）をお招きし、お話を聞きました。

今年度に入ってからも生徒の活躍は続き、軟式野球部は春季県大会で、この2年間連続全国制覇をしている中京商業高校を破り、32年ぶりの県大会優勝を成し遂げました。また、ボクシング部は3名が全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に出場します。そして、文化系では将棋部女子3名が全国大会団体戦に出場します。

なお、今年度のインターハイは岐阜県で行われ、ボクシングと男子バレーボールは、地元多治見市で開催されます（8月1日～17日）。わが多治見北高校の体育館でも試合が行われます。それに向けて、わが校でも一人一役運動として、多治見市内の生徒を中心に300名近い生徒が大会の運営で活躍します。



公式ホームページ開設しました！

かねてより、同窓会員の皆様から、要望が出されておりました同窓会東京支部の公式ホームページがこの7月に完成しました。掲載内容は、「同窓会東京支部紹介」、「同窓会活動報告」、「関連リンク集」、同窓会員向け「お便りコーナー」であり、今後、さらに、拡充していく予定です。

ホームページへのアクセスは、下記のとおりですので、同窓会員間の連絡、情報交換に、是非、積極的に活用してください。

<ホームページ名称>多治見北高同窓会東京支部

<ホームページアドレス><http://members.aol.com/takitatky/>

<メールアドレス>takitatky@aol.com

<記事掲載依頼方法>・記事掲載希望者は、上記メールアドレスあるいは、ホームページ内のお便りコーナーから、記事をメール送付して下さい。なお、記事内容が、社会通念上、問題がある場合は、記事内容変更、あるいは、掲載中止等の処置をするケースがありますので、ご理解をお願いします。

自然と共に

今程環境問題が世界中で取り上げられていることは過去にはなかったと思います。それほど、地球環境が、あるいは身近な生活環境が汚染されていることだと思います。18世紀に端を発した産業革命がこの二百年の間に、人類に繁栄を与えたプラスの面と、環境を破壊した負の面を増幅させた結果だと思います。私は今こそ人類が、特に石油化学製品を大量に消費する国の人々が真摯に後世のことを考えて、無公害で継続できる地球環境の創出のために生活様式を全面的に変えるべきだと思います。特に日本は経済大国から環境大国への再生こそ本当の姿だと思います。

私はここ十数年前からアイヌ民族問題に関心を寄せ、勝手に理解し、支援していますが、アイヌの人々は本来自然との共生を原則にしています。特にイオルとって生活空間を大切にしています。生活に必要な最小限の海の幸、河の幸、山の幸を取るだけでした。着物はアッシと言われる木の皮で織った布で作ります。万物に神が宿り、感謝し、再生できる自然の中で

生活していたのです。ですからあえて文字はいらなかったのです。その代わり口承文化であるユーカラ（詩歌）を通して代々受け継がれてきたのです。明治以後の日本政府のアイヌ民族同化政策による悲惨な歴史を検証していくと、時代の背景を考え合わせてみてもあまりにも非情理で不合法です。戦後の国民主権、民主主義がアイヌ民族の先住民族としての権利回復を正面からとらえ解決する事が大切だと思います。

小さな村（コタン）ですが、謙虚で質素を旨とするアイヌの人たちの生活に接すると、私達和人が忘れてきている大切なものを思い出します。アイヌの人たちは草木の名前や特徴をよく知っています。

春先にとって漬物にしたキトピロ（行者ニンニク）をつまみにアイヌの人の民宿で、そこの主人と歴史を語り、将来を語るのが今の私にはかけがえのない一時です。あなたも一緒に行きませんか。

ご拝読イヤイライケレ（ありがとうございます）。

（1回生 加藤 武教）

ロサンゼルス滞在記

私がロサンゼルス空港に降りたのは、1996年7月26日午前11時過ぎでした。噂には聞いていましたが、正にカリフォルニアの白い空が広がっていました。出張であれば気分的に明るかったでしょうが、駐在となると気分は青空のように晴れ晴れとはいきませんでした。私は入社以来19年間、国内営業管理部門に配属され、異動の経験がほとんどありませんでした。それがいきなり海外駐在を命じられたのです。私にとって、これは青天の霹靂でした。

当時私は41歳であり、初めての駐在としては余りにも年を取り過ぎていると感じていました。案の定異なった環境に順応するには時間がかかりました。最も苦勞したのが英語によるコミュニケーションでした。何せ19年間も英語から離れると流石に忘れており、思い出すのに時間がかかりました。当時は、自分の言いたい事が半分も伝わってない事に愕然とし、自信喪失に陥ったりしておりました。しかし、会話は駄目でも文章には自信があったため、通じない時はEメールで補足して何とかコミュニケーションを図っていました。耳が慣れ、言葉がすっと出るようになるのには一年半も必要でした。

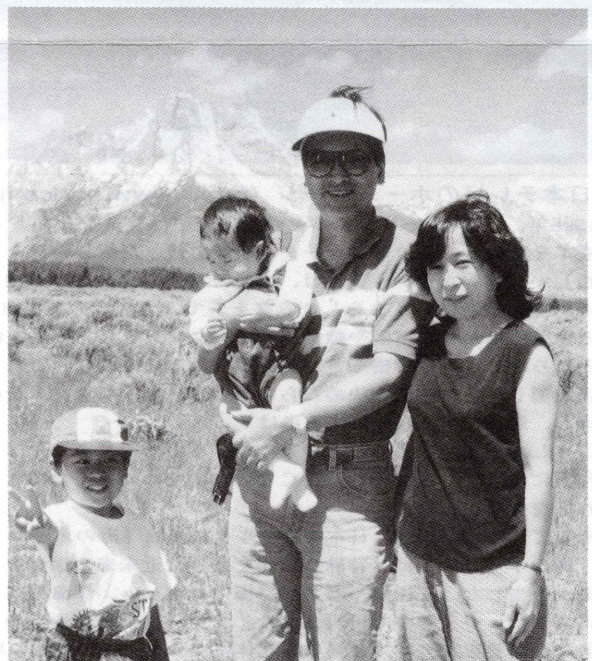
海外で暮らしてみると、日本の良し悪しが本当によく見えるものです。暮らし易さという観点では、圧倒的に米国に軍配が上がるでしょう。高速道路は素晴らしくその上無料であり、更にガソリン代は日本の四分の一でした。なぜ日本がこれほど不便でコストが高いのか、考える必要があると思います。

米人は米国が世界一優秀だと思っており、それが自信につながっています。それに比べ日本は自信が無さそうに見えて仕方がありませんでした。（当時山一証券、北海道拓殖銀行の倒産があったのでよけいそう感

じたと思います。）概ね米国人は家族を第一に考え、仕事は二の次と考えていると思います。当時の私には、とても羨ましく感じられ、ぜひ取り入れていこうと思いました。

日本人の国際化が叫ばれて久しいのですが、やはり国内にいたのでは、日本のレベルを認識する事ができません。そしてそのギャップを感じる事で日本をよりレベルアップさせることができると思います。多くの日本人を海外に行かせる事が、日本を変える早道だと感じました。

（愛知正人 13回生 クラリオン(株)）



彫刻家の仕事

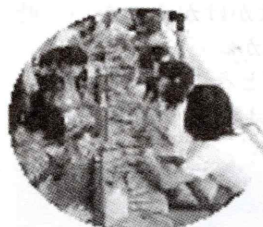
ここでは、本会員の彫刻家二氏の近ごろのお仕事を紹介します。

7回生 岩田 実氏

岩田氏はこの夏、新潟県十日町市で行われた「第六回十日町石彫シンポジウム」に参加。作品が市内に設置された。

<広報誌「とおかまち」より>

第6回石彫シンポジウムは、8月20日(日)、公開制作によって完成した4作品が本町2丁目の商店街4か所に設置され、市民に披露されました。「芸術文化のおおかまちづくり」を目指し、平成7年から十日町石彫シンポジウムはスタートしました。10年から第二期に入り、作家と地域住民のつながりに重点を置いて、市民生活の中に融和していくような空間づくりを進めてきました。

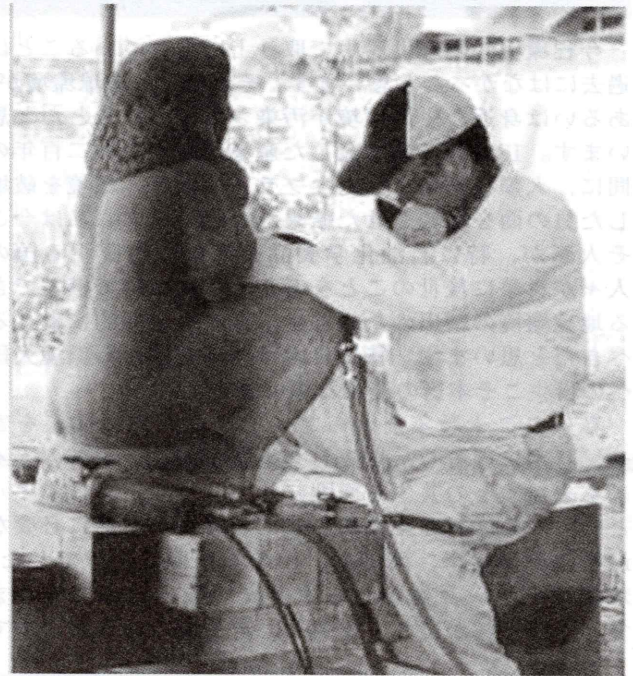


地元作家とともに、子どもたちが思い思いに作品づくり

石との対話 まちとの融和

また、8月6日(日)、「みんなで作る彫刻教室」が公開制作会場で開かれました。子どもたちから作品づくりを体験しながら芸術に親しんでもらおうと、

地元の彫刻家、藤巻秀正氏と小宮山晃夫氏が講師で小学生など30人が参加しました。粘土を使った作品づくりで、楽しい一日を過ごしました。



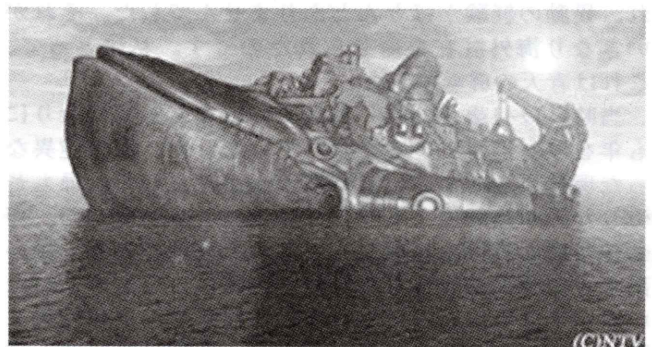
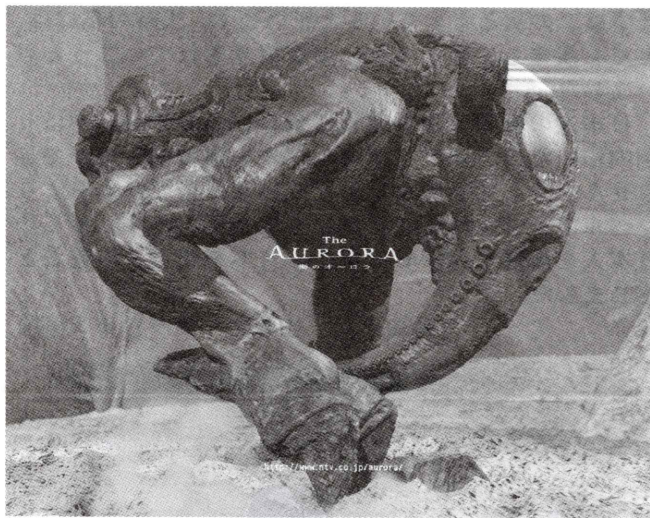
岩田 実氏「希望」(制作風景)

<岩田氏のホームページ>

<http://www.kamakuranet.ne.jp/~iwata/>

12回生 天野裕夫氏

天野氏は、日本テレビ制作のフルCGアニメ映画「海のオーロラ」に美術設定として参加。この夏公開された。



<日本テレビのホームページ (http://www.ntv.co.jp/aurora/) より>

1998年、「海のオーロラ」の企画は「発明品プロジェクト」として日本テレビ内でスタートした。デジタル化によるメディアの大変革を前にして、コンピューター映像を使った新しいジャンルの可能性を探ることが目的だった。

新しいジャンルということは、当然、参考にするものが無いということでもある。実写ならば、スタジオにはカメラもあれば照明もある。役者はメイクをし、衣裳を着て、カメラの前で自ら声をあげ、身体を使って芝居することもできる。セルアニメなら、紙と鉛筆で描かれた原画や動画がスキャニングされ、彩色されて、背景と合成するという制作工程が確立している。

ところがCGだけで構成される長編映画というのは、これまで日本で作られた経験が存在しない。画面に登場する物体をどのように造形し、色や質感を決めたいのか。キャラクターを動かし、喋らせるにはどうしたらいいか。そして、作業をどのように分担し、最後にフィルムにするには？

こうした難題をひとつひとつ乗り越えるため、スタッフは、ストーリーを作成したり、カットを決めたりといった通常の映画制作作業に加えて、人間や背景をCGで作るための技術の確立と、長編を制作するための制作システムの試行錯誤を粘り強く続けなければならなかった。

そしてついにこの夏、日本初のフルCG映画「海のオーロラ」がデビューすることになった。

「海のオーロラ」は、特殊な進化を遂げた近未来の深海を舞台にした物語である。現実と異なる世界の美術設定は彫刻家の天野裕夫が担当した。支援船や潜水艦、海中ロボット、深海掘削基地やその内部などのデザインは、天野が制作したブロンズ作品をもとにコンピューター中で再現された。また、特徴的な頭身のキャラクターは、スタジオジブリ作品のキャラクターデザインなどで有名な近藤勝也がアニメと異なる立体キャラクターの造形に取り組み、独自のリアリティを表現している。

新役員体制・会則

昨年の総会で、本
会会則の改正および
新役員の選出が行わ
れました。

改めてここで紹介
します。

役員		
会 長	愛知紘治	1 回生
副 会 長	前原金一	2 回生
	大地秀生	6 回生
	岩田 実	7 回生
庶務・会計	石橋正文	7 回生
監 査	大獄節洋	7 回生

岐阜県立多治見北高等学校同窓会東京支部会則

第1条 (名称)

本会は、岐阜県立多治見北高等学校同窓会東京支部と称し、事務局を首都圏に置く。

第2条 (目的)

本会は、会員相互の親睦を図り、本部との連繫をとり、母校の発展に寄与することを目的とする。

第3条 (会員)

本会は、下記の会員を以て組織する。

通常会員 岐阜県立多治見北高等学校の卒業生であって東京
周辺に在住又は勤務する者（中途退学者で、役員
会にて承認された者を含む）

特別会員 岐阜県立多治見北高等学校の旧職員であって東京
周辺に在住又は勤務する者

第4条 (役員)

本会に下記の役員を置く。

会長	1名
副会長	3名
庶務・会計	1名
理事	各期より若干名
監査	1名

- (1) 会長及び副会長は、総会において選任する。
- (2) 理事は、各期から選任する。理事が転居等で職務を遂行できない事態が生じたときは、後任者を決めて事務局に連絡するものとする。この手続きがなされないときは、役員会から委嘱することもできる。
- (3) 庶務・会計及び監査は、理事の中から会長が委嘱する。
- (4) 役員任期は総会から3年間とし、再任を妨げない。ただし、会長及び副会長は2期6年を限度とする。

第5条 (役員の仕事)

- (1) 会長は、本会を代表し会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。その順位は年齢によるものとする。
- (3) 理事は、各期を総括して事務局との連絡を図り、併せて必要に応じて役員会を援助する。
- (4) 庶務会計は庶務・会計に関することを、監査は会計監査を、それぞれ行う。

第6条 (役員会)

役員会は、会長、副会長、庶務・会計、理事、監査を以て組織する。役員会は、会長が適宜開催し、会全体の会務運営に関して協議決定する。

第7条 (事業)

本会は、下記の事業を行う。

- (1) 会員名簿の発行
- (2) 会報の発行
- (3) 総会の開催
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

第8条 (会計)

- (1) 本会の経費は、年会費、寄付金を以てこれに当てる。
- (2) 年会費は、一般3000円、学生1000円とする。
- (3) 予算・決算は、総会において報告するものとする。
- (4) 会計期間は、10月1日から翌年9月30日までとする。

第9条 (付則)

- (1) 会員は、身分、居所等に異動を生じた際は、事務局に通知連絡するものとする。
- (2) 会則の変更は、総会の決議を経るものとする。

副会長就任のごあいさつ

前原金一 2回生

「東京で北高の同窓会をやろう」と一回生の鈴木満さんから声をかけられ、東京支部が発足したが、当時は本部組織もはっきりしていなかった。鈴木さんの尽力には頭が下がる。その後大阪勤務となった折に、「関西でも」と二回生の同窓会で意見が盛り上がり、小規模ながらスタートすることができた。昨年は八回生、吉田美喜夫立命館大学教授、今年七回生永井一彰奈良大学教授のお世話で、大変印象深い感動的な同窓会を開催できた。



第一回から毎年、東京と関西の両方にほとんど出席し、多くの同窓生と旧交を温めたり、新しい交友が始まったりして、本当にやっていて良かったと感じている。この間ボランティア活動で運営を支えてきて下さった幹事の皆様には心から感謝している。また、いつも遠路出席して下さいの大角先生はじめ母校の先生方にも御礼申し上げたい。小生は非力ではあるが、少しでもお役に立てるよう活動していく覚悟です。どうぞよろしく。

大地秀生 6回生

このたび、副会長に、選任されました6回生の大地です。愛知会長、前原、岩田副会長とともに、多治見北高同窓会東京支部の発展、活性化を図っていく所存ですので、よろしく、ご協力お願いいたします。



私達の同窓会活動は、会員の皆様のボランティアで、成り立っているものです。卒業したての若い人から、1回生まで、世代を超えた多くの同窓生の輪により、同窓会活動を活性化させようではありませんか。この度、開設されたホームページを活用し、同窓会情報が、タイムリィに、スピーディに、同窓会員の皆様に、伝わるようになります。さらに、同窓会員間のタテ、ヨコの連絡に活用していただき、同窓会の輪を広げるよう、よろしく、お願いいたします。

岩田 実 7回生

現代は、人間の内面と外面というような分け方をしない時代であるように思います。が、そうは言っても、心に思うこと、願うこと、信じることと、目で見、触れ、体験する事柄とは、個人差はあるものの同一ではありません。人格は、一方では天が与えてくれた環境の中で、第二の自然として、心の大切にしたいものや、進んでいきたい方向や、存在として創り上げていきたいものに、自ら気付いたり、それらを育てたりすることと、もう一方では、未知なる広大な第一の自然というにふさわしい、時空や事物へのあくなき知のチャレンジによって形成されていきます。後者は和魂漢才の時代から和魂洋才の時代を経て知力だけではなく、体力も情報も資材も十分過ぎる位の時代になったけれど、前者の方が問題だという実感を持つ人が今日多くなってきました。



文化が経済に優先する時代にあっては、個人の逞しい自主性の中に、美を求め、それを育てる心や、他の人々の文化を理解する心が重要な思想の位置を占めてくると思います。情報の多元化や、それに伴い価値観の多様化するなかで、混沌のない、開かれた国際人としてこの社会で自立していくには、文化への、或いは文化からの柔軟性と自らの思想をもちあわせねばならないでしょう。

第11回東京支部総会・懇親会のご案内

会員の皆様には益々御清祥の事とお慶び申し上げます。いつも何かと支部運営にお力添えいただき有り難うございます。

さて、本年も総会・懇親会を下記の要領で開催いたします。時節柄御多用とは存じますが同窓の方々をお誘いあわせの上、ご出席下さい。

多治見北高同窓会東京支部総会実行委員会
(1、11、21、31回生)

幹事 1回生 愛知紘治、石田昭郎、中嶋正人、
柴田晴子
21回生 杉本達治

記

日時：平成12年11月11日(土) pm3:00~7:00

受付 pm2:30~

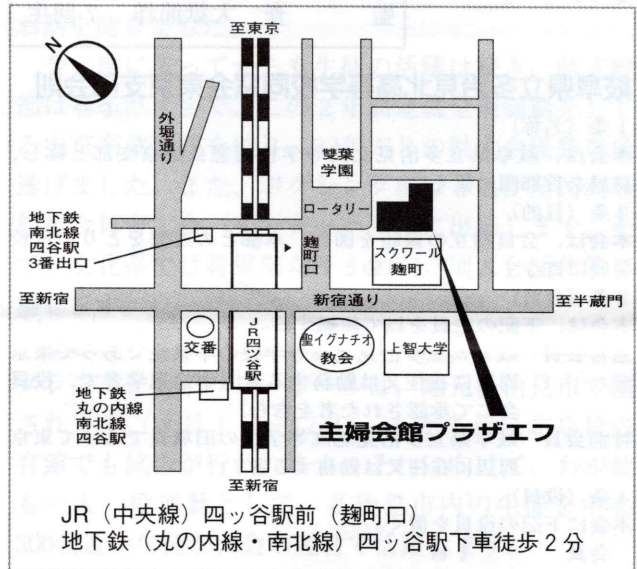
総会 pm3:00~3:30

議長選出 活動報告 会計報告 その他

フォーラム pm3:30~5:00

1. 「写蝶の楽しみ」 中嶋正人 (1回生)
2. 「声優って何？」 川人康代 (17回生)
3. 「遺伝子組換え食品とゲノム」
加藤哲太 (6回生)
愛知紘治 (1回生)

懇親会 pm5:00~7:00



会場：主婦会館プラザエフ (03-3265-8111) ※会場までの道筋は、案内図をご覧ください。

- ・懇親会費 一般7,000円 学生4,000円(新卒業生は、無料) ・年会費 一般3,000円 学生1,000円
- ・今年も同窓会本部より若尾会長、尾関副会長、母校から土肥校長先生、他恩師の先生方をお招きする予定です。
- ・出欠のお返事は、準備の都合もありますので10月20日までにお願い致します。



昨年の総会、懇親会の様子

編集後記

このたび、会報第14号を発行するにあたり、母校の皆様ならびに同窓生各位にはご協力いただき厚く御礼申し上げます。新世紀に対応できる同窓会の新基軸と、その抱負と共に、皆様の同窓会への熱い思いや、母校、故郷の話題、社会への新しい視点等を中心に編集致しました。今後のIT関係、地域別同窓会等の話題も含め、お気付きの点、ご意見、情報等お寄せ下さい。また、住所変更も下記委員までお知らせ下さい。

編集委員(連絡先)

〒338-0804 埼玉県浦和市上木崎1-10-1-1203 愛知紘治(1回生) TEL/FAX 048-825-0215
 〒247-0062 神奈川県鎌倉市山ノ内67 岩田 実(7回生) TEL/FAX 0467-25-5329
 〒131-0043 東京都墨田区立花6-8-1-304 原田英明(12回生) TEL 03-3616-5398 md_harada@hotmail.com
 <ホームページアドレス>http://members.aol.com/takitatky/ <メールアドレス>takitatky@aol.com